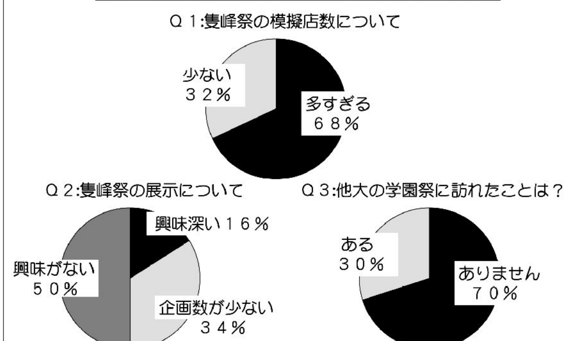
筑波學生新聞

「模擬店祭」から脱するために

データにみる 雙峰祭の問題点

筑波大学の学園祭である雙峰祭は「模擬店祭」という蔑称で呼ばれることがある。模擬店ばかりが行われ研究発表などの展示が少ないことを皮肉ったものだ。その事実を筑波大生はどのように受け止めているのだろうか。そして、実際に雙峰祭は他校の学園祭に比べ展示の数が少ないのだろうか。五十名の学生にアンケートを行いその意識を探ると共に、他大学の学園祭との比較をすることで雙峰祭について考えてみた。（中里）

学園祭に関するアンケート（有効回答数五〇）



客観的に見た 雙峰祭

雙峰祭期間中の学内を歩くと通りには模擬店ばかりが並んでいることに気づく。校舎内に入ってもそれは同じで、研究発表などの展示はあまり見あたらない。アンケートでも約七割の学生が「雙峰祭は模擬店ばかりであるという印象を受ける」と答えている。やはり雙峰祭は「模擬店祭」なのだろうか。

そのことを確認するために、実際の模擬店と展示の割合を調べてみる。今年度のパンフレットによると登録された企画の数は、模擬店が二一三、研究・展示ステージなどの企画の合計が一一八となっており、その比は約二対一である。

これに対して、東京大学の駒場祭では今年四一〇の企画が登録されており、そのうち模擬店の数は一九一。模擬店と展示の割合は三対四となっている。また慶應大学の三田祭では、三〇〇ある企画の内模擬店の数はわずか八〇に過ぎず、研究・展示との割合は一対三となっている。このように、雙峰祭が模擬店の多い学園祭であることは、数の上からも明らかである。

では、雙峰祭で行なわれている企画の内容は、どのように捉えられているのだろうか。アンケートに見られるように、展示に満足している人は十六パーセントしかいない。雙峰祭で行なわれている展示に不満を感じている学生は多いが、実際に行なわれる展示の数は少ない、という現状。ここからは、筑波大生が雙峰祭に期待している物が展示ではなく模擬店であるという事実が伺える。

一方、三田祭では、経済や商学の分野で日本経済新聞に発表されるレベルの発表を数ヶ月に渡る準備の上に行なっている。雙峰祭では模造紙に数日前に書いた原稿を貼り付けるだけといった展示が平然と行なわれていることを考えれば、その差は歴然である。他大の展示は数が多いだけでなく、質的にも優れているのだ。

大学の管理が招く問題

この差はどこから来るのだろうか。雙峰祭に企画参加するためには、学園祭実行委員会に企画書を提出し、それが全代会、学園祭委員会、学生生活審議会と三重のチェックを受けることが必要となる。このうち学園実行委員と全代会は学生によって組織される団体であるが、残りは教授によって構成される大学の組織である。雙峰祭は、大学側の審査を通った企画だけが学園祭に参加できる管理された学園祭、ということが出来るのだ。今回取材した駒場祭と三田祭に提出された企画は共に学生によるチェックを受けるだけで、大学からの干渉は行なわれていない。雙峰祭が大学からの干渉を受けているという事実はその予算の問題と深く関係している。

学生分担金、教職員や学外からの寄付、からなる雙峰祭の予算は毎年約八〇〇万円である。この予算のほとんどを大学が負担しているという点で、雙峰祭は他大の学園祭と大きく異なっている。予算を大学側が出すということは、学園祭の決定権を大学が握るということを意味し、当然その企画にも大学が干渉することとなってしまうのだ。

一方、駒場祭はパンフレットの販売費や広告、学生から集められる運営費などで集められる二〇〇〇万円で運営されており、三田祭もまたパンフレット販売費、広告、参加団体の分担金、チケット、福引きの収入などで四〇〇〇万円の予算を得ている。この両学園祭の運営は学生の手で行なわれているため、その企画に大学が口出しすることは出来ない。

また、他大との予算の差を見れば、アンケートでも多く出されていた「もっと有名人を呼んで派手な企画をして欲しい」という要望を叶えることが不可能であることが分かるだろう。

雙峰祭と他大の学園祭の違いは、企画の登録システムと予算のいずれも、その管理を学生が行っているか、大学がおこなっているかという点に集約する。雙峰祭が魅力的な展示の少ない「模擬店祭」となる原因の一つがここにある。

▲多くの学生で賑わう模擬店（昨年の学園祭から）

汚名返上に向けた意識改革

他大学からの刺激のなさが生む停滞

汚名返上のためには学生の意識変革が必要

雙峰祭が「模擬店祭」となるもう一つの原因は、筑波大生の意識の問題である。今回行ったアンケートからは、七〇パーセントの学生が他大の学園祭に行ったことがないという結果が出ている。筑波大生は実際には他大の学園祭を知らないが雙峰祭を模擬店ばかりである、と感じているのである。それは学園祭実行委員も同じであり、取材の中で委員長は「他大の学園祭はあまり見ていない」と発言している。これには近くに他の大学が少ないという筑波大学の立地条件が大きく影響している。この立地条件のため、筑波大生は他大の学園から刺激を受けることが出来ないままに、毎年代わり映えのしない雙峰祭を行って来てしまったのだ。

しかし、それを言い訳にして自分たち以外の大学の様子をはっきりと認識しないままでは、自分の姿を客観的に判断することもできない。事実学園祭実行委員会は昨年までよりも展示・企画の数を増やしたとしているが増えた数は十程度であり、その理由も「模擬店ばかりでは会場が屋外に固まってしまうため」というのものでしかなかった。

もちろん、企画・展示などの研究発表が多い学園祭が素晴らしいというわけではない。しかし、大学という学問を学ぶ場で行なわれる祭りが金儲けや楽しみが目当ての模擬店ばかりというのではあまりにおそまつなのではないだろうか。

筑波大生が本当に雙峰祭の企画をつまらないと感じているなら、自ら動かなくてはいけない。学園実行委員が本当に大学らしい学園祭を目指すなら、登録システムや予算の問題と共に筑波大生の雙峰祭に対する意識を変え、積極的な参加を促さなければならない。それがなされない限り、雙峰祭が「模擬店祭」の汚名を返上することは出来ないだろう。そんなお約束的な提言をしなければならないほどに、雙峰祭は停滞しきっているのだ。

医療短期大学入試 出題ミス発覚

五人が追加合格

筑波大学は二月に実施された医療短期大学の入学試験で、化学の設問中に出題ミスがあったことを九月一三日に発表した。

ミスのあった設問に関して同試験を受けた受験生全員を正解とし、その結果、不合格になっていた五名が追加合格となった。ミスの内容は、金属の酸化還元反応を問う穴埋め問題において語群に正解がない部分が二カ所あったというもので、配点はそれぞれ二点だった。問題を作成する際に三名の化学担当教官が試験問題をチェックしたが、ミスには気付かなかったという。

ミスを最初に指摘したのは京都市の入試関係書籍の出版社。八月二〇日に指摘の手紙を出したが、筑波大の事務員は手紙を三週間も放置していた。その後九月七日に入試委員会に届け、一一日関係教官らで指摘された内容について会議を開き、一二日に北原保雄学長に報告したという。

ここ数年、埼玉大、富山大、山形大などの国立大学で出題ミスが取り沙汰されており、いずれも、ミスの発覚後、文部省からの援助金をカットされている。筑波大学にも、ミスをしばらく放置していたことも重なり、何らかの処分が下されることが予想される。

大学は、五名には謝罪を行うとともに、入学の意志があるかの確認を行い、入学する生徒には一学期分の補習日程を調整していくという。実際、看護学科に一名、衛生技術学科に二名入学することが決まっている。

四月から入学している一年生に話を聞いたところ「途中から入ってきて追いつくのは大変だと思うが、頑張ってほしい」と話してくれた。（河野）

つくばでも警察官の不祥事発覚

事故の虚偽報告で書類送検

つくば北署のパトカーが、信号無視をしたバイクに乗った少年を追跡していたところ、少年は警官の目の前で事故をおこし、死亡するという事件が起こった。日時は七月一日、場所はつくば市内国道一二五号線北条付近。その後、警官が上司に「オートバイを追跡したが、見失った」と報告をし、さらに嘘の捜査報告書を作成したとして、九月一八日県警観察課とつくば北署が水戸地検に書類送検した。

「目前で事故を目の当たりにして気が動転した」と語った同署の巡査部長（四五）と巡査（四六）はすでにこの事件で県警から減給の懲戒処分を言い渡されていた。今回はその事件を重く見た県警監察課とつくば北署が、更なる処罰を求めたことで事件が初めて公表されることとなった。

全国で警察の不祥事事件が相次ぐ中、ここつくばでも警察の失態が明らかになった。しかしこの事件についてつくば北署は「既に発表した新聞に書いてある事以外しゃべれることは何もない」とのコメントを残しただけだった。（伊藤）

情報公開条例制定

業務透明化に向け再出発

筑南水道企業団

つくば市は、情報公開条例を九月二七日の定例議会で全会一致により議決した。同条例は昨年一一月の筑南水道企業団の元次長が起こした一〇〇億円不正借り入れ事件への反省から制定されたもの。

同条例は、住民らの請求に応じて文書、写真、フロッピーなどを公開し、事業運営の透明化を図るのが目的。これに伴い、事件発生時から調査を続けてきた百条委員会も活動終了を発表した。

同企業団は、一〇月一日から業務を委託する銀行を、関東銀行から常陽銀行に変更する。関東銀行は、同行に振り込まれた一〇〇億円を公金だという認識をいつまでも変えず、同団の信頼を大きく損ねたためだ。

企業団の収納業務は続行されるため、水道料金はこれまで通り同行で支払うことができる。（河野）

茨城県知事選実施

橋本昌氏再選を果たす

現職の橋本昌知事の任期満了に伴って、茨城県知事選挙が九月二五日に行われ、同夜九時から県内一五一三カ所で開票が実施された。今回、新人で弁護士の中田直人氏（七〇）＝共産推薦と橋本昌氏（五五）＝自民・民主・公明・社民・保守推薦の二人が立候補。多くの党から支援を受けた橋本氏が中田氏に大差をつけ当選を果たした。

一方で投票率の低下も目立った。同選では県知事選史上最低の二九・九三パーセントを記録し、全国史上でもワースト五位に入る結果となった。

学生からも「いまいち親近感が湧かない。学生でなくとも、ついつい足が遠ざかってしまうと思う」という声が聞かれた。（河野）

お詫び

先月号の記事「学内で自給自足」において某研究所に無断で侵入し農作物を強奪し、さらにそれを紙面に掲載しましたことを、ここに深くお詫び申し上げます。

発行・編集
筑波大学学生新聞会
代表　伊藤仁士
〒305-8691
電話　0298-52-4460
振替　00360-9-31450
一部　100円

october 10月号 2001

今月の紙面から

四面 松の木に住まう

ルンペンになることを選択した本紙記者の心の友名犬「ヒトシ」。しかし、冬の寒さは二人を容赦なく追いつめる。「パトラッシュ、僕はもう疲れたよ」

今月号の記事

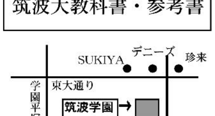
CONTENTS

2面　どうなる？日本語日本文化学類
3面　筑波大生の住宅事情
4面　懐かしの絵本を読み返してみよう

自主休講

ドイツ語でこう書かれた門を我々はくぐり抜ける。「ARBEIT MACHT FREI～働けば自由になる～」。ポーランド南部に位置する小さな村、オシフィエンチムにあるナチスによる強制収容所、ドイツ語名アイシュビッツの門である▼夏休み、私と友人はシベリア鉄道に乗ってヨーロッパへ向かった。その途中ポーランドを訪れた我々は、ワルシャワから列車で六時間、ポプラ並木と麦畑の続く農村地帯を訪れた。この穏やかな地に、第二次世界大戦中、ドイツ・ナチスは「一大殺人工場」と呼ばれる強制収容所をつくった。この施設だけで、一五〇万人のユダヤ人やポーランド人、ジプシーや反ナチ活動家などが殺されたといわれている▼門をくぐると、そこには収容された人々が寝ていた建物や虐殺に使用されたガス室、銃殺するための壁などが目の前に広がる。ガラス越しにぎっしりと詰まったユダヤ人の金歯や、髪の毛で作った布などまでもが、全て当時のまま残っている。有名な『アンネの日記』の著者であるアンネ・フランクもここへ連れてこられ、わずか一五歳で病死した。アイシュビッツを訪れるドイツ人観光客はとても多い。一つ一つを丹念に見て回っている彼らの姿が印象的だった▼このような場所が実は韓国や中国にも残っている。中国の南京やハルピン、韓国ソウルの独立門にも、戦争の傷跡は残されている。そこには日本軍によって殺害された人々の写真や拷問や人体実験の様子を表す模型など、アイシュビッツと同様に目を伏せたくなるぐらいリアルな光景がある。しかし、日本人観光客の姿はほとんど見られない▼私が昨年中国を旅した際、列車の中で出会った学生たちがこう言っていた。「中国と日本は、これからもっと友好を築くべきだと学生は思っている。しかし、過去に日本軍がしたことを、日本の若者にも知って欲しい」。▼アイシュビッツと東アジアの国々。遠く離れているが、これらは決して離して考えることは出来ないのではないだろうか。これらの場所が永遠に残されることで、戦争を経験したことのない我々も、戦争によって受けたマイノリティの歴史を永遠に日の当たりにすることができる。この二つの場所を旅して、私はそういう印象を受けた。

筑波学園文庫
古書購入
学術書・専門書
筑波大教科書・参考書

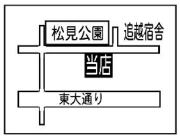


つくば市天久保3-21-3
Tel/Fax(0298)56-0322

取材から編集まで、新聞技術のすべてを教えます。
筑波学生新聞では新入部員を随時募集中。
0298-52-4460

筑波大生のための店　R.S.
天久保3−9−6（筑波大学大学会館から）オオキビル
TEL 51-6293
FAX 56-0288
高画質・高速・全自動 コピー1枚10円
高速ワープロ入力サービス
全文字サービス
FAX送信・受信サービス

カラオケボックス パーティ＆パーティ
つくば店
10月14日から21日までおつまみ・食事全品半額！
サービス券も併用可！
詳しいことは店員にお尋ね下さい
＊1時間無料券は1回に一枚使用できます
Tel.0298-56-3955
http://www.party2.co.jp



切り取り
2時間以上ご利用のお客様に限り
1時間無料券
他のイベントとの併用はできません
2001年10月31日まで有効
カラオケボックス
パーティ＆パーティつくば店　56−3955

どうなる、日本語・日本文化学類？

四年連続の定員縮小で募集人員は半分に

『日・日廃止』の噂広まる

日本語・日本文化学類（以下日・日）が廃止になるという噂が学生の間でまことしやかにささやかれている。そんな中、同学群の学生の多くは毎年減らされる定員数に不安を感じているという。実際にそのようなことが起こりうるのだろうか。学類長の今井雅春教授に取材した。（伊藤）

学生数の低下は全学類中最多

九七年度八〇、九九年度六〇、〇一年度四〇。この数字は日・日の入試定員の推移を表している。日・日学類以外でも、社会学類、自然学類、国際学類など、六つの学類で定員が減少しているが、その数は皆二〇人程で、日・日学類の四〇人という数が群を抜いて多い。また割合的に見ても四年で半分まで生徒数が減ってしまっている学類は他にない。

四年間、日・日学類の定員は毎年十人ずつ縮小し、その数は以前の半分の四〇人となってしまった。九月に発表された〇二年度の定員は同じく四〇人で現状を維持したが、同学類の教授や、事務員の、比較文化学類や、人文学類への異動も行われ、生徒の間で囁かれる「近い内に廃止されてしまう」といった噂に拍車をかける結果となっている。事実を確かめるべく学類長の今井教授の話を聞いてみる。すると「少子化の影響で大学からの指示を受けたため。定員数を本来の数に戻しただけ」と否定する。

少子化の影響を受け、創設当時の定員数へ削減

元々、日・日学類は八五年、日本政府の留学生十万人受け入れ計画にのっとり、定員四〇名で設立された。二年後の八七年度より大学受験者数の増加、国際化時代を迎えて日本語教育の重要性を理由に文部省からの提案で定員を倍の八〇名に増員し、そのまま九七年度までの十年間運営が行われてきた。今井教授の話では今回の縮小は各学類増員をした分だけ、減らすという処置を施しただけというものだ。事実、他学群についても開学以来の定員に戻すという処置がなされている。しかし当時より大幅な増員をしたのは同学群のみだったので、今回の定員削減も他の学群よりも際立った形となったというのだ。

人数が減ることによって学生にも弊害が生じ始めてきている。生徒数の減少に伴い、教授も異動、退職により五人減少した。しかし現四年生は八七名在籍しているので、卒業研究の担当教官の不足という問題が生じ始めている。「教員と生徒のバランスをとることが課題」と今井教授も語る。

日・日学類は今後、十年間の八〇人を対象とした授業体制から脱却し、四〇人という少人数向けの授業を展開する組織へと転換することが求められている。今井学類長は最後に「今後は定員削減は行わないと聞いている。人数が減って個人的には寂しいが、少人数という点を逆に利用してアットホームでより充実した教育を試みるつもりだ。」と語ってくれた。

▲日・日の行く末に不安の声が挙がっている

第二回・乱用の果ての依存状態について

ドラッグを通じて世界の断層模様を眺める

茨城ダルク施設長・岩井喜代仁氏に聞く

ダルクという施設がある。そこでは薬物依存症を患う人々が集まり、社会復帰のためのリハビリが行なわれている。全国二四か所あるその施設の中で、茨城県結城市にある茨城ダルク「今日一日ハウス」の施設長を務めているのが岩井喜代仁という人だ。

施設長といっても、岩井氏は医者ではない。元ヤクザであり、元薬物依存者であり、自ら覚醒剤の売人もしていた。その経験から取材中にもこんな言葉を我々に浴びせる。

「俺は一七年間薬にはまり続けた。薬物依存は一生治らない。クスリが今でも欲しいとさえ思う」。

ドラッグの世界に対しとりあえず一線を画している我々はその最悪の事態である依存状態とはどんなものか、自分が実際に体験することは永久にできないだろう。自分が依存者にならぬ限りは。それ故に疑問は続いていく。なぜハマるのか、どれだけ苦しいのか、復帰の可能性はどれだけあるのか…。

伝染する薬物依存

学園都市から西へ約三〇キロほど行くと、のどかな田園風景の中にとけ込むようにして「今日一日ハウス」がある。折しも本紙記者がそこを訪れた時、施設から出た一台のワゴンとすれ違った。窓越しに見た患者たちの顔は率直に言って皆柄が悪く、怖い。彼らは「温泉療法」に向かうところだという。

「ここに来る人の九六パーセントがタバコからシンナー、覚醒剤の順に手をつけている」。その図式は日本では一般的であるという。平均的に、小学四年生でタバコに手をつける子供がグループ化し、中学二年頃にシンナーを吸うグループが出来上がり、高校一年で覚醒剤乱用が始まるという。このように薬物の接触構造は段階的なのだ。ドラッグが経験者から未経験者へ、人を通して伝達される仕組みを岩井氏は「伝染病」と呼ぶ。

薬物依存という病が人から人へと拡大されていくこと。その中で自分だけはなぜ平気だと言えるか。病の「適齢期」を過ぎた大学生は、自分を疑う必要はないか。岩井氏は我々取材陣に対しても厳しく問いただす。自らドラッグ売人をこなしていたその言葉は重い。「心の底から信頼できる友達が何人いるというんだ。その数少ない親友から薬を勧められたら断れるのか。エッチの時に彼氏から勧められたらどうするんだ。中高生はほとんど断り切れてないよ。女を薬にはめるなんて簡単なんだよ。俺ならアンタをハメるくらいなら二時間で出来る」。

一端依存状態に陥るとどうなるか。最も恐ろしい例として岩井氏は若年層が吸うシンナーを挙げる。一四歳という成長期に接触するのが一般的なため、未完成な脳が直接被害を受けて「とろける」。とろけた脳が復元することは永久にありえない。その行き着く先として岩井氏が語るのは「二五歳の体で精神年齢一四歳、脳みそ七〇歳」という状態だ。

▶茨城ダルク施設長 岩井喜代仁氏

薬物被害全般について岩井氏が何度も何度も強調しているのは、一度依存を患ったら一生完治しないということ。それ故岩井氏は各地を講演し、薬物依存の悲惨さと予防の大切さを訴える。が、それでも現状はなかなか改善されないでいる。

依存者の家族は？

依存者と最も近くにいるはずの家族は、この病に対してどう対応しているのか。まず依存者は親によって平均七〜一〇年ほどひたすら抱え込まれるのが一般的だという。施設側は「もう少し早い時期に相談してくれれば」という心境だが、親としてのプライドや社会的偏見など抱えるジレンマは大きい。だが家族ができる限界がやがて訪れ、ダルクの出番がやってくる。その頃には、その家庭は文字通り限界にある。サラ金等の莫大な借金、家庭内暴力、家族崩壊…。

リハビリ施設・ダルクが薬物依存者を抱える家庭に唯一課している施設への入場条件。それは必ず親がダルクの施設とは別の場所で行なわれる定例の家族会に参加することだ。岩井氏には親が変わらねば薬物依存の子供も変わらぬという経験則がある。子供はダルクへ。親は家族会へ。親離れ子離れを徹底させた上で依存症とは、決して比喩ではなく病気そのものであることを両者に認識させるのだ。家族という閉鎖された空間では、この認識に至るのが極めて難しいのが現実である。

施設の中で…自らの過去を徹底認識

施設の中で依存者が復帰に向けて行なうプログラムは別枠に記してあるが、それらの底辺に流れる前提意識として「（薬物依存回復のための）一二のステップ」というものがある。このステップのポイントは、未来より過去について自らが厳格に自覚していこう、というものだ。

薬物依存は一生完治することはない。一度でも再び手を出せば、今までで最悪だった状態へと即座に戻る。だがクスリを使いたい衝動は常に抱えている。そんな葛藤の中をこの先終わりなく生きぬいていかねばならない。難なく想像できてしまう未来の厳しさ。「今まで施設にいた七〇〇人の中で一度も脱走しなかったのは一二人しかいない」（岩井氏）。だからせめて自分の過去を正直に認めると共に、今日一日だけでも自分がクスリに頼らず生きていくことを考える。そんな考え方が「今日一日ハウス」という名の由来でもある。

岩井氏の幸福と依存者の希望

岩井喜代仁。十七年間薬物依存の泥沼でもがき苦しみ、自らリハビリ施設で働いて今年が九年目。その中で様々な施設に足を運び薬物依存の恐怖を語り続けてきた。ダルクでの活動理由はあくまで「自分のため。自分が再びクスリに手を染めないためには仲間が必要だから」。そんな岩井氏の姿を追いにマスコミ関係者も頻繁に施設を訪ねる。

ダルクでの活動を通して「今自分は心から幸せ」と語る岩井氏。その地に足がついた彼の幸福は、依存者にもそうなる可能性をはらんだ人々への、現実的な希望でもあるだろう。

ダルク及び茨城ダルクについて

英語でDARC、drug addiction rehabilitation centerの略。

８６年に東京で創立、茨城での設立は９２年で、設立当初から岩井氏が施設長を務めている。

茨城ダルクのリハビリプログラムは朝のミーティング、ドラッグ以外の楽しみを知るためのソフトボール、水泳等のスポーツ療法や温泉療法等。また夜は施設外でのミーティングが行われる。

現在茨城ダルクの入寮者は２５名。

施設外では、依存者等の家族で作られる家族会の活動が月一回のベースで行われている。同じ悩みを持つ家族が集い、本来の家族機能の回復を目指す。

＊茨城ダルクの連絡先は0296-35-1151

第六回つくば提言大賞決まる

大澤洋子氏　修学旅行誘致を提案

第六回つくば提言大賞の最終審査が九月五日に行われ、受賞者が決定した。提言大賞はつくば市の大澤洋子氏が獲得し、提言賞は大論文の部で茎崎町の鎌田幸蔵氏、小論文の部で土浦市の櫻井京子氏が選ばれた。

これは、地域に根ざした市民からの意見でつくば市をよりよくしていくことを目的として市が実施しているもの。

今回の応募は八月末日に締め切りとなり、これまでで最も多い三十四編が寄せられた。テーマ別では観光が二十三編、福祉が八編、その他が三編と、観光に関するものが目立った。一次審査を通過した八編について、文章・構想力、独創性、説得力、社会性・共感性などから最終審査が行われた。

提言大賞の大澤氏は「つくば観光への提言」と題し、科学の日を育てる修学旅行誘致やつくば周辺のフルーツ産地との連携をして、子供を呼ぶことを提案した。また、複数の企業による伝統産業展示村のつくば都心部での開設などを呼びかけた。

提言賞の大論文の部の鎌田氏は、「福祉のまちづくりの提言」と題し、医療・介護の出前サービスを行う、欧米型の老人スモールタウン、高齢者団地の設置を訴えた。小論文の部の櫻井氏は、「お蚕（こ）さまの里再生」と題し、我が国唯一の養蚕神社である蚕影神社の再生の修復、筑波山麓の水田風景の保存、休耕田を利用した古代の染料植物栽培などを提唱した。

これらの提案は今までにない独創的で魅力的なものであるが、つくば市の現状と合っているのか、今後これらの提言が実現されるか、効果があるのかに疑問が残る。（浦部）

交通部課設置

車に依存する状況打破を目指し交通行政を一括管理

つくば市議会の総務委員会が九月一八日に開かれ、市内の交通行政を一挙に管轄する交通部課設置の請願が採択された。今回の委員会は、休日や通勤時に市内中心部へ自家用車が集中し道路混雑を引き起こすことや、生活道路に車が流入してくることを解消しようという目的で行われたもの。

請願を行ったのは「市民環境会議自家用車に依存しないまちづくりを考えるプロジェクト」代表である栗山洋四氏。交通手段が自家用車に限られるつくば市の交通状況を「公共の交通体系が貧困すぎる。このままでは、都市としての発達が大幅に遅れることになる」と警告し、交通体系の整備を呼びかけた。

交通部課設置の採択により、道路管理を都市計画、消防交通、福祉など複数の課が共同し、二〇〇五年のつくばエクスプレス（常磐新線）開通も視野に入れて業務を行っていく。これまで、それぞれの課が独自に行政に関わってきたが、今後、各課による総合的な視点から、一括して管理することが可能な所轄課としての機能が期待されている。（河野）

のりのりサイクル回収作業実施

約半数が所在地不明に

昨年五月から始められたつくば市の無料自転車レンタルサービス「のりのりサイクル」。その改修作業が八月一日から九月一日にかけて行われた。放置されている自転車が多いため回収は市民から報告を受けた市がトラックで行い、パンクなどの修理を行った。

のりのりサイクルは当初市内十カ所の返却スタンドに計一六五台配備されていたが、今回回収出来たのは約半分の八五台だけで、残りは所在地が不明のままであった。

鍵をかけて私物化する人や、返却スタンドに戻さずに乗り捨てる人も多く、利用者のマナーが問われるのりのりサイクル。しかしそのシステム自体は今後も続けられ、これからもつくば市は年に一度のペースで今回のような改修作業を行っていくという。（中里）

▲学内に乗り捨てられたのりのりサイクルは守衛に回収される。

コーヒーを楽しもう

「珈琲と文学を楽しむ会」開催

10月13日 筑波ハム

つくば市下平塚の筑波ハムで十月十三日（土）に、「珈琲と文学を楽しむ会」というイベントが開催される。このイベントの後援はつくば市や読売新聞など。晩餐会などでのマナーや正しい歩き方などを学ぶカルチャースクール、「美しいマナー&ウォーキングスタジオ」なども協賛という形で参加している。

このイベントは、今年の春に美しいマナー&ウォーキングつくばスタジオの五周年記念授業の一環として行われた「珈琲を楽しむ会」の第二段。スタジオの代表で日本コーヒー文化学会会員の佐藤美代子氏によって、コーヒーの美味しい味わい方を広めようと発案された。

当日はつくば市長の挨拶や、茨城大学教授の佐々木靖章氏による「森鴎外とカフェ」というテーマの講演、美味しい珈琲の入れ方の実演があり、そのコーヒーの試飲へと移る。また、日本コーヒー文化学会の理事による「珈琲に魅せられて」と題されたフォーラムや、「とってもいいカップ展」と題された十名の陶芸家による展示も行われる。

実行委員によると、「コーヒーには、やる気を起こし、気分を前向きにしてくれる不思議な力がある。そんなコーヒーの魅力に親しんでもらいたい」という。

参加費は一人千円。受付人数は八〇人で、まだ若干の余裕がある。問い合わせ先、「珈琲と文学を楽しむ会」実行委員会事務局、佐藤美代子、電話（〇二九八）三六－六五八二

（浦部）

花火競技会

今年も土浦で

全国から名のある花火師が一同に会し、日本一をかけて腕を競い合う土浦全国花火競技大会が、十月六日に開催される。大正一四年から続けられるこの大会は、今年で七〇回を迎えた記念大会となる。

土浦学園線を横切る桜川付近で行われるこの大会は、スターマイン、一〇号玉、創作花火といった三部門で構成される。午後六時から打ち上げが始まり二時間半の時間で全国から選抜された一流の花火師が、計二万発もの花火を夜空に飾る。

残念ながら、本紙が出来上がる頃にはこの花火大会は終わってしまっている。だがすでに秋の恒例行事として定着しているこのイベントは来年への期待も大きい。

つくばマラソン一一月二五日に

筑波大学を中心に学園都市を走るつくばマラソンが、今年も一一月二五日に開催される。これは毎年一一月の終わりに開催されるもので、今年で二十一回目を迎えた。

一〇キロ部門では、筑波大学構内のループ道路をほぼ二周する。四二・一九五キロ部門では、約七〇〇〇人もの参加者が大学をスタートして学園都市を巡り学内の陸上競技場にゴールする。

学園都市周辺における秋の恒例行事となっているつくばマラソン。しかし一方で、道路規制等に対する会場付近の住民から不満の声も挙がっている。

市民によるまちづくり支援のための「市民活動センター」開設

つくば市は、ボランティアなどを支援し、市民による積極的なまちづくりを促すため「市民活動センター」を市民の日である十一月三十日、センタービル内に開設する。このセンターの設立によりどのような効果が見込まれているのだろうか。市やボランティア団体に取材し、考えてみた。（中里）

「市民活動センター」とは、情報収集や意見交換などができる活動拠点を提供することで市民グループの自立やネットワーク作りを助け、市民による新たなまちづくりを目指すことを目的とした施設である。センターには、会議や作業、情報収集などができるスペースを設け、各グループの活動を紹介するコーナーなどを作る予定。資料作りや情報収集のために印刷機やコピー機、パソコン、ＦＡＸなどの機器を備え、低価格で使用できるようにするという。総事業費として約一千百六十万を計上した。このような施設の開設は、県内では石岡の「街角情報センター」、水戸の「交流サロン」に続いて三番目である。

市は昨年七月に開かれた「市民活動をいかしたまちづくり」というシンポジウムや、十一月から行われたワークショップなどでセンターのあり方などを検討してきた。「豊富な人材やアイディアがありながら、市民グループ同士が連携できずに単独で活動しているのが現状。センターの開設で市民グループ同士の横の連絡が増え、よりよいまちづくりが行ってゆければよい」と話すように、行政側のセンターに対する期待は大きい。

しかし、つくば市民の約十分の一を占める筑波大生は紫峰会などの施設を利用するため、センターに対する関心は薄い。人権ボランティア団体である「アムネスティ・インターナショナル」も「センターが開設されることは知らなかった。まだ詳しいことはわからないが、今のところ利用は考えていない」としている。

よりよいまちづくり、を目指すのならば、筑波大生に対してもより活発にアピールし、市民と筑波大生が協力してゆくことが求められる。

▲市民活動センターはセンタービル内に１１月３０日開設される。

九月一五日「宇宙の日」

ＮＡＳＤＡで特別講演行われる

人工衛星などを公開

つくば市千現二丁目の宇宙開発事業団（ＮＡＳＤＡ）筑波宇宙センターで、施設の特別講演が行われた。これは九月一五日の「宇宙の日」を記念したもの。「宇宙の日」は一九九二年九月一五日に宇宙飛行士の毛利衛さんがスペースシャトルで宇宙に飛び立った日。

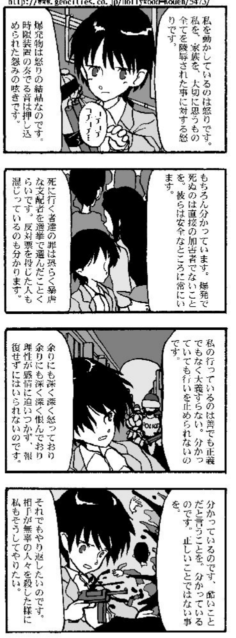
会場では、ペットボトルで作る水ロケットや火薬を使うモデルロケットを製作し飛ばすイベントが行われたほか、実際に打ち上げ人工衛星や宇宙飛行士の訓練設備なども公開された。また同日は大阪・万国博ホールで「宇宙の日」記念行事として、「宇宙ふれあい塾」が開かれ、大阪会場と結んで宇宙飛行士との対話コーナーなども設けられた。（中里）

緊急報告
筑波学生新聞のＨＰがついに完成!!
新聞の枠を、私たちがひろげる。
小紙編集方針/活動内容/今月の紙面/掲示板/縮刷版販売 etc
URL→http://newspp_tsukuba.tripod.co.jp/

大盛況
ソフト館ミュージックプラザ
でっかく広がるDVDワールド
お客様第一・良心経営
石丸電気 つくば店
0298 51-1400

エサがあれば、飛びつく。
情報求む。
0298-52-4460

ひとのめ 67 ～怒り～
http://www.geocities.co.jp/Hollywood-Kouen/5473/



筑波大学オリジナルグッズ 発売の裏側に迫る!!

UT（University of Tsukuba）コレクションと呼ばれる様々な筑波大学オリジナルグッズが、去年の春から書籍部や、追越の共用棟で販売されている。これらの商品を利用しているのはどのような人なのだろうか、どのような目的で作られているのだろうか。学内オリジナルグッズをデザインし、販売しているUTクラブに取材した。（伊藤）

平成十年に筑波大学は、開学二五周年を迎え、校章・校名書体・スクールカラーを一新した。校章制定のデザインを担当した芸術学系の先生方の全面協力により、「UTコレクション企画案」を設立。UTコレクション企画室の監修のもとに企画、デザインを行うUTclubが結成された。同クラブは基本的な運営、デザインを行う学生、彼らをサポートする筑波大のOBや、紫峰会の人達で構成される。

「筑波大学は総合大学にしては珍しく芸術専門学類を持っている。その特色をいかし、大学学生がグッズのデザインを手掛けることになった」とUTクラブのメンバー、久保さんは語る。学生がグッズの企画を行うのは日本では例をみない試みであるが、海外では大学のオリジナルグッズを大々的に売り出すのは珍しいことではない。メンバーの山口さんは「世界的に知名度がある大学にはオリジナルグッズがある。研究機関や優秀な教授が揃い、世界的にも有名な筑波大学にもオリジナルグッズがあるべき」と語る。

▲紫峰会追越共用棟店に並ぶＵＴコレクション

彼らの企画した商品は、二種に大別できる。一つはルーズリーフ・レポートパッドなど。学群、学類など書き込みができるようなっており筑波の学生が使いやすいように配慮され、そのため購入者も学生が多い。またもう一つはポストカードや、置き時計、はちまきなど。ギフト用に開発され、学生の親、筑波大学を受験しようと思っている学生などが買っていくという。今後焼き物、どら焼きなどのお菓子類を販売する計画もあり、どんどん種類を増やしていく予定であるという。また売り上げも好調のようで、カバン等一部の商品は完売といった状況である。

値段の面ではネクタイ（五一〇〇円）や時計（四〇〇〇円）など、高価なものが多く、学生が気軽に購入できるものは少ない。しかし現在は商品の販売が通信販売と書籍部、共用棟のみなので大量生産が出来ずこの値段が限界であるという。山口さんは「そのかわり、材料などの素材にこだわり値段に遜色しない商品を作っている。皆さんにもっと存在を知ってもらい、大々的に売り出すことができれば、値段を安くすることができる」と語る。

実際に参加している学生のメンバーはこの活動についてどう思っているのだろうか。話を聞いてみると「有名なおみやげが存在しないつくば市とタイアップして新しい名物を作っていきたい」、「もっと様々な学類からメンバーを集め、幅広い活動を展開していきたい」と意気盛んであった。UTコレクションが世界的に有名になれるかどうかは彼らの腕にかかっている。

不動産屋に聞く 筑波大生の住宅事情

静寂を好む人が住む花畑 買い物好きが多い桜も交通量の多さから人気減

一学期も終わり、生活に余裕ができてきた学生の中には、引っ越しを考えている人も多いのではないだろうか。最近の筑波大生はどのような住居を望むのだろうか。不動産屋に取材を行なった。（田中）

取材を行なったのはエール不動産、ネクスト、一誠商事、アジア住販の四件の不動産屋で、春日、天久保、桜、花畑をカバーしている。「物件を選ぶときの基準は順に、物件の部屋の広さ、家賃、地区だ」とネクストは語る。勿論、選ぶ人の基準や生活レベルが条件に反映される。住居を考えるとき、セキュリティに対しての要望が高く、意外なことに男女問わず二階以上を希望する人は多い。学生が選ぶ物件の平均額は三万五千円で男女格差はない。契約については、どの不動産屋も二年契約であり、途中で退去をすることになっても、たいていの場合一ヶ月前に申請すれば退去が可能である。しかし一方で契約したら二年間はずっと住んでもらう、というところもあるという。

学生の希望価格は３万５０００円

つくばに住む学生が住居に構えるのは大別して春日三丁目、四丁目、天久保三丁目、桜、柴崎、花畑、その他に分けられる。今回取材した四件の不動産屋では、学生がもっとも住みたいと望む地区は天久保三丁目、春日三丁目であるという。

学生は基本的には学校に近い場所を選ぶ傾向があるようで、学群ごとに住みたいと思う地区も違っている。例えば、第三学群に通う人は最低でも春日三・四丁目までしか住まず、春日二丁目などは敬遠する傾向があるという。

また、地区ごとに住民の特徴が表れた結果が出ている。花畑に住む人は静寂を好んで選ぶ。花畑周辺は道路に面したところや住民が少ない。加えて学生が敬遠するので、他の地区と比較して人嫌いが集まる地区と言えるだろう。

天久保は学校に隣接しているので、人気の地区だ。国家が大学が作られる頃に学生が住むアパートにするとわざわざ方針を決めた由緒正しい地区なので、古い建物が多い。

春日はとにかく物件が安い。普通は安いと思われている花畑よりも、物件によるわずかな差はあれ全体として安価である。建物が古いものが多いといったことがその理由である。路上駐車が多く、治安が悪いといった印象を受ける。

桜に住む人は買い物を日常的にする人である。ついた最近まで桜は人気地区だった。しかし、この頃ではその人気が減少してきている。以前までは建て物が新しい特徴があったが、しだいに老朽化が進み、車の往来が増加しているのがその主な理由だ。

地区事に様々な特徴を備えるつくばの住宅事情がおわかりいただけただろうか。これがあなたの引っ越しの助けになれば幸いである。

学生の携帯電話

学生は何を携帯電話に求めるか

今ではほとんどの学生が使用している携帯電話。写真を撮ったり、ゲームができる、音楽をダウンロードできるといった数年前には考えもしなかった多様な機能を揃えた機種が発売されている。一方で学生を対象とした割引サービスも用意されており、企業間の競争が激化している。こんな中、学生は何を基準として携帯電話を選んでいるのだろうか。NTTドコモ、J-Phoneなどメーカーや、大学周辺の携帯電話ショップに話を聞いてみた。（伊藤）

「携帯電話を選ぶ際、基本的には機能、デザイン、値段の三大条件が基準となる。それに加え、つくばの土地柄から電波状況が重要になる」と春日にある「テレオール」の店員は語る。実際につくばには、研究施設、森林の中など全く電波が届かない場所、届きにくい場所が数多く存在する。そのような状況で、さらにメーカーによってアンテナを建てている場所が違うので、各メーカー間で、電波の強弱の差が明確に出てくることとなるのだ。しかし学生は実際に電波の善し悪しで携帯電話を選ぶことがあるのだろうか。

今回話を聞いた、各ショップはともに、ドコモの人気が各メーカーの中でも一、二を争うという。また「学割」という学生であれば通話料が半額という破格の料金プランを掲げるau社も、近頃、学生の間で人気を博しているという。それに、カメラなどの機能、豊富な料金プランを持ち、使い方によってはau社よりも安くなるJ-Phone社。六四和音の着信メロディーを売りにするツーカー社の順に人気が集まっている。

▲筑波大生が利用する携帯電話

自分にあった携帯電話を自由に選ぶ学生

au社は唯一学内にアンテナを持っており、電波の状況も各メーカーの中で一番良い。しかしau社の社員は「なによりも学生にとって値段が安いのは一番の魅力」と現在の人気を分析する。比較的金銭感覚に敏感な留学生も、同社の商品を多く利用しており、人気の秘密となっているとのこと。その電波の状況の良さは人気の理由として分析していない。

また、au社と人気を争うNTTドコモ社製品は筑波大学内では電波が弱い。ドコモの社員が語るには、「アンテナを建てている場所は他のメーカーと同じような場所。しかしiモードの電波は特殊であるためつながりにくくなるのではないか」と推測している。学内での電波が弱い上に機種そのものの値段も高く通話料ののサービスプランなどもない。そんな同社の商品は何故人気があるのだろうか。そのため天久保に店を構える「テレキッズつくば」の店員は「皆が使っているからという理由でドコモの商品を利用しているお客さんが多いように思える」と分析する。

各メーカーや、携帯電話ショップの話を聞くと、つくばにおいても電波状況が携帯電話を選ぶ際の重要な判断材料になっていないことが分かる。

携帯電話を購入する時の判断材料は個人差があり、学生はそれぞれに自分の条件にあった電話を選んでいるようだ。

声だけで表現 ポエマホリックカフェ

自作の詩を自分の声のみで表現する。そんな「詩の朗読会」という一風変わったイベント「ポエマホリックカフェ」が、毎月最終日曜、つくばセンター付近の喫茶店「UnCafe」で開かれている。

これは一昨年つくば市で行われた朗読会「詩のボクシング茨城県大会」の参加者が意気投合し、「もっと詩の朗読がしたい」という思いで始めたイベントで、今年で二年目。八月には十三人の実行委員の手によって昨年分の詩がまとめられ、詩集「PoemaholicCafe2000」として発行された。

今年九回目のポエマホリックカフェが開かれた九月三〇日、開場にはつくば市内外から二〇人以上の愛好家が集まった。「題材に対する制限は一切ない」というルール通り、内容・形態は多岐にわたる。脳性マヒを持ったある詩人が、懸命に言葉を発しようとする独特のスタイルで朗読を見せたかと思うと、大物映画俳優にインタビューする一部始終を「詩」として実演するパフォーマンスも飛び出す。この日は新人四人を含む一八人が自作の詩を披露し、およそ二時間半で閉幕となった。

マニアックゆえに解放できる自分

しかし次々に新しい表現方法が登場する一方で、その内容となる「詩」をどのように定義しているのか。その問いに対して、ある実行委員は「普段意識することの少ない言葉の響き・味わいに注目する視点」と答える。この一言には、その気さえあれば誰でも参加できるイベントとしての気軽さと、何でもありの一芸大会と一線を画す奥深さの両面を感じる。

「詩中毒者のカフェ」と名付けられたこのイベント。非常にマニアックである。知り合いは周りに誰もいない。だからこそ、普段隠したり気づかないようにしている自分の素直な一面を、ちょっとだけ出してもいいかなと思える瞬間がある。これからもいい意味でマニアックであって欲しい。（野口）

ポエマホリックカフェ２００１ホームページ
http://homepage.mac.com/poemaholic/
連絡先
０９０（７４２２）３９４７（西村）

声のかもめピアノのかもめ

詩の朗読と音楽のコラボレーションイベント開催

つくばカピオホールにおいて九月九日、詩の朗読イベントである「ピアノのかもめ、こえのかもめ」が行われた。これは作家の多和田葉子さんやピアニストの高瀬あきさんによる詩の朗読と音楽のコラボレーションイベントで、ゲストとして作家の島田雅彦氏やサックスプレイヤーの林栄一氏も招かれた。

照明施設などが活用された当日は、開場の四時間以上前から専門のスタッフによってリハーサルが繰り返された。多和田葉子さんの透明感のある詩の朗読は、ピアノの演奏や会場の雰囲気とあいまって緊張感のある興奮を観客に与え、大きな拍手で迎えられた。また島田雅彦氏は深みのある声でリズム感のあるユニークな詩を朗読し、会場を湧かせた。全体的に「詩の朗読」という言葉の与える堅苦しく難しいというイメージからはかけ離れた軽やかな公演であった。

実行委員の野口修氏によると今回の公演の目的は「日本だけでなく、世界というフィールドで生きている人を紹介すること。価値観が多様化した社会において、様々な分野で活躍する人をそれぞれが自立した形で統一させること」。また主催団体のひとつである筑波文学の会の会長・丸尾かなえさんは今回の企画について「多和田葉子さんの言葉を音として、文字を形としてとらえる視点が良く表れていて興味深かった」と感想を語った。

観客は一二〇名程で、開場前から当日券を求めた観客が列を作ったが、興行的には赤字であったという。しかし、実行委員の野口修氏は「これからも多様な表現行為をしている人をプレゼンし、つくば市に根付かしていきたい」と積極的に活動をしていくことを表明した。（中里）

福祉循環バス 試運行好評

一ヶ月八〇〇〇人の利用 市民の足として定着

つくば市では昨年九月一九日から福祉循環バスの試行運行を行なっており、今年九月二十八日締め切りでその愛称とデザインの募集を実施した。この福祉循環バスは市の公共施設の利用率を高める目的で始められたもので、六つのコースに分かれて市内を回っている。利用費は無料で、通勤や通学、買い物など利用目的を問わず、誰でも利用できる。

愛称・デザインは約二〇〇の応募があり、福祉循環バス検討委員会によって、本運行が行なわれる来年四月までに決定される予定。

全六コースのうち最も短い大穂地区コースで五三キロ、最も長い筑波地区コースで九四キロ。筑波地区コースは一日三便、その他のコースは一日五便の運行となっている。

車両はマイクロバス六台で、運行はタクシー会社に委託しており、一月あたり三六七万五〇〇〇円の経費がかかっている。また使用者は運行当初の月五〇〇〇人から現在は八〇〇〇人以上に拡大しており、市民の足として定着しつつある。

また、福祉循環バス検討委員会には、筑波大学で公共交通のゼミを行なう教授の推薦で社会工学類の学生も参加しており、筑波大生の意見も反映されている。（中里）

筑波山神社にポストカプセル奉納

つくば科学万博で使用したポストカプセルを、筑波山神社にある万博記念館に奉納する式典が、筑波学園郵便局によって九月一七日に行われた。

ポストカプセルは一九八五年のつくば科学万博で二一世紀最初の元旦に手紙を届けるというイベントが行われた時に手紙を保管していたものである。今年の元旦に保管していた手紙が配達され役目を終えるまでの一六年間、筑波学園郵便局の前に展示されていた。

奉納日の九月一七日は一六年前に科学万博が終了した翌日で、万博の展示物、ポスターなどの関係物が万博記念館に納められた日である。（佐々木）

筑波学生教職員生活協同組合
免許　教習所斡旋
食品　自然食品宅配
引越　引越・電話

つくば市天久保2-6-1
ベストランドIV-101
TEL/FAX 0298-55-9331
営業時間11:00-20:00

I love money.
筑波学生新聞

スポンサー大募集中
筑波学生新聞では広告主を探しています。
年間・隔月契約も受け付けています。

定期購読者募集のお知らせ

小紙「筑波学生新聞」は7、8、3月を除き、毎月発行されています。学内の書籍部、書店、コンビニにて販売していますが、同時に、便利でお得な定期購読も承っております。年間800円でご自宅まで新聞をお届け致します（郵送料含む）。是非ご利用下さい。ご希望の方は右の申込用紙を以下のところへ投函して下さい。

〒305-8621 茨城県筑波学園郵便局私書箱29号

定期購読申込

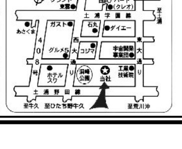
筑波学生新聞の定期購読を申し込みます。

お名前

所属（学類・学年）

住所

電話番号

求めている旅、してますか…
海外出張　海外旅行
海外専門スタッフによる好評のトラベルアレンジ
海外各地への格安航空券や現地プランに精通した担当者が、スケジュールのご相談から現地手配の打合せまで、ご予算に応じた納得の旅をサポートします。
"安心・満足・低予算"…つくば地区唯一の優良店です。
[各研究機関・大学・企業など取扱い実績多数]
学会出席、海外出張、社員旅行
個人・グループ旅行、ハネムーン他
地元エリアで安心・便利な海外専門旅行代理店
圏央ツーリストサービス
☎0298-58-3123(代)
つくば市二の宮2-17-10(洞峰公園北隣沿い)
●営業時間／平日AM9:30～PM6:30 土曜AM9:30～PM3:00
●定休日／日曜・祝祭日・特定土曜

世界の各地へ・信頼の予約と手配
ジャパン・ツアー・システム(日本航空グループ)特約店
ENGLISH SPOKEN TRAVEL AGENCY

私の本に住まう

題字：伊藤ヒトシ

浮浪者になろう！ つくばで一泊二日乞食体験

▲ルンペン仲間とともに食べ物を探す

これまで私は、格闘技団体に殴り込んだり、学内で物を拾って食って生きてみたり、芸能界デビューを企てオーディションを受けてみたり、体当たりの企画を続けてきた。「俺は何だ？（ホワッツミー？）」。読者は気付かなかったかもしれないが、それらの企画を通して私は絶えず高尚な問いかけをしてきた。人間とは何かと、片瀬りのは美人かと、カントは何を言いたかったのかと、生きるとは如何なることかと。そして私は疲弊しきった。弱った。まいった。滅入った。ちょっとチビった。そして、全てのしがらみから逃れるために考えた「いっそルンペンにでもなってしまえば…」。

というわけで今回は一泊二日のルンペン体験に挑戦。実は以前からルンペンを観察してきた私は前々から何故つくばにはルンペンがいないのかと疑問に思っていたのだ。「それならいっそルンペンにでもなってしまえば…」

野良犬「ヒトシ」と義兄弟の契りを交わす

「やった今日から俺はルンペンだ。金は使わないし、家にも帰らない。俺は新しく生まれ変わったのだ（アイボーン）」。まずあてもなく学内を歩き回る。基本的に一日中暇であるはずのルンペン、私も秋のポカポカ陽気の日差しのなか気持ち良く散歩気分で歩き回った。「やっぱりルンペンは最高だ」私は「将来はルンペンになる」と親に電話したくなるくらい上機嫌だった。

芸術専門学群のあたりを歩いている時、私は一匹の犬を見つけた。その犬はまるで狂ったかのようにくる回転しながら吠え続けている。その犬の隣を通り過ぎようとするとキャツは無邪気な様子で私についてくるではないか。食べることになるかもしれないのでそのままにしておくことにする。

一学と二学を結ぶ鉄橋にさしかかった時、私は犬コロに話かけた。「俺がここから飛び降りたらお前もとびおりるか」と。私が鉄橋から飛び降りるふりをすると、犬コロは飛び降りようとしたのだ。私は感動した。そこで私は犬コロと義兄弟の契りを交わす。「ヒトシ」と名前を付け、兄貴と慕うことにする。

一日目の昼くらいまでは気分上々だった私だが、次第に、腹が減ってリキが入らなくなってくる。ヒトシもお腹がすいているらしく私に何か訴えるように鼻声をならす。しかし、私はなすすべはなく途方にくれて歩き続けるしかない。

だんだん日も暮れてきて「もう散歩はいいよ（ノーモアサンポ）」と思ったが、それでも歩き続ける私。見境なく壁や電柱を蹴りちらし、ストレスを発散させるも空しさは消えない。ヒトシは紙を食べることを発見した私は、際限なく紙を与え続け、ヒトシとの絆は保持した。しかし歩き続けて七・八時間が経つと、私は足が棒のようになり不機嫌さがマックスに到達しようとしていた。空腹のあまりヒトシを食べようと見ると、見知らぬ婆に「かわいいわね、おいで」と言われおかしを貰っているではないか。私はこれにヒントを得た。

外で寝ると風邪をひくでしょう

犬小屋に侵入し、ドッグフードをかき集め、ヒトシと空腹を満たす。しかし、それくらいではお腹一杯になるはずもない。その他にもチョコボールを拾ったり、落ちてる煙草を探したり人間としての威信と尊厳をかなぐり捨て、どうにか空腹感を満たし、夜を迎える。

段ボールをかき集め、傘を拝借し、一の矢の宿舎の付近「虹の広場」と呼ばれる場所の松の木の下に設置し、準備万全で夜を迎えた。ヒトシは紙を与えすぎたせいか、（タウンページを食べる）狂気したように走りまわり、私の気持ちもルンペン初の泊まりということもあって高ぶってくる。

しかし、寒さはかわいそうな私とヒトシに容赦なかった。「パトラッシュ、僕はもう疲れたよ」と思ったが、あまりの疲労からすんなり眠りが訪れる。

次の日の朝五時過ぎ、寒さのあまり体力を失い目覚めた私は、去年学内に存在した一人のルンペン（冬以降、姿をくらました）が何故いなくなったか、その証拠を突き止めたことにして、一泊二日のツアーを急遽キャンセルし、すき家に向かった。キャンセル料として後日、ヒトシは私の元を去ることになる。

（伊藤）

絵本が教えてくれる 忘れかけていた大事なもの

★読書の秋★

懐かしの絵本を読み返してみよう!! 筑波大生の絵本への関心を調査

西武五階の本屋リブロで絵本フェアが開催されているのをご存知だろうか。特にディズニーやピーターラビットなどの輸入版の絵本が売れている。買ってゆくのは主に大人であり、その人気はなかなかのもの。絵本のキャラクターがカレンダーや文房具などのグッズとなっており、売れ行きも好調であるという。その人気の秘密を探るために、筑波大生が絵本から受けている影響について調査してみた。（高橋）

▲ずらりと並んだ懐かしの絵本たち。

絵本が与えてくれるもの・・・ 文字・やさしさ・愛・人情

話を聞いたのは十八歳から二十五歳まで男女二十人。初めに、「幼い頃どんな絵本を読んだのか」と聞いてみた。すると「くまのとこやさん」「ノンタン」「１００万回生きた猫」などの回答があり、日本の絵本であるということ以外はバラバラで、男女差も年齢差も特に見られないという結果がでた。ほとんどの人が「絵本を読んでいた時期があまりに遠すぎて思い出せない」と語る。また、「自分の子供に読ませたい本は何なのか」と問いたところグリム童話などの教訓のある作品が多く挙がった。

次に、「現在絵本を持っているかどうか」と質問してみた。結果は五分の一にあたる四名が実家には残していると答え、そのうちの四分の三が男性であった。男性には女性よりも思い出を大切にするロマンチストが多いことが分かる。医学部一年のYくんは「たまに読むと懐かしいから残している」と語っている。

女性より男性の方がロマンチスト？！

最後に、「絵本から何を学んだのか」という質問をしたところ、答えは二つのタイプに分かれた。一つは文字の勉強になったなどの学習面で成長したというタイプで、女性が多い。もう一つは、優しさや愛、人情などの精神面で成長したというタイプであり男性が目立つ。この回答には、女性は絵本の学習面としての機能を重視し、男性は精神面としての機能を重視するという形で男女差が大きくでた。この調査にも女性の現実的な部分と、男性のロマンチストな部分がよく表れている。

このアンケートの結果から、絵本から読み取るものには男女間に差があることが分かる。絵本がまた読み返されるようになった背景には、昔の絵本を思い出したロマンチストな男性の力があるのではないか。絵本は文字だけではない重要なものを教えてくれる。この秋を機会に女性も懐かしい絵本にひたってみてはどうだろうか。

つくばの名酒、一人娘新作 「しらべ」発売

― 親しみ安く、すっきりとした甘口で好評 ―

一八〇五年から製造されている辛口の日本酒「一人娘」。今年九月、その製造元である山中酒造から新作の日本酒が出荷された。「しらべ」と銘打たれたこの酒は、それまでの「一人娘」とどう違うのだろうか。実際に飲みくらべ、比較してみた。

新作の日本酒の名前は「一人娘しらべ」。値段は七二〇ミリリットルが一〇〇〇円、一、八〇〇ミリリットルが二〇〇〇円（外税）となっている。「しらべ」は土浦の太平酒店、渡辺酒店、さくま酒店、はせがわ酒店で市販しており、つくば市内で購入できる酒屋はまだない。

軟水を用いた二段仕込みが味の秘訣

通常の酒造りでは三段仕込みと呼ばれる麹を三度に分けて発酵させる手法が用いられるが、山中酒造では軟水を使うために独特な手法である二段仕込みの手法を使用する。しかし、二段仕込みでは十分な発酵が促されにくく、また急造をするために腐りやすくなるなどの障害が生じてしまう。しかし、山中酒造では独自に開発した発酵法でこの問題を解決している。

これまでの山中酒造ではその独特の酒の製造方法ゆえに辛口の酒しか製造出来なかった。しかし、試行錯誤を繰り返した結果、新しく甘口の日本酒を製することに成功し、「一人娘」の愛好者たちの評判も良かったので販売することになったのだ。

通常の酒造りに好まれる水は、マグネシウムなどの塩類や石灰質が多く溶けている硬水である。鬼怒川のほとりに立地する山中酒造は豊富な軟水に恵まれており、人が飲んで美味しいと感じる軟水を利用して酒造りをすることで、すっきりとした旨口を製することに成功したのだ。

最近、もてはやされる辛口は冷やにして飲むのが美味しい飲み方なのだが、「しらべ」は甘口である。甘口のお酒は三〇～四〇度のぬる燗にして飲むとおいしいというので、ぬる燗にして飲んでみると、意外に口にべとつかず、すっきりしているが飲みごたえのある味であった。これまでの「一人娘」と比較して明らかに飲みやすく、女性でも親しみやすい味だと思われる。

「一人娘と同じく上品で親しみやすい」「最近飲んだ日本酒にはない優しい味」「湯豆腐を肴にして飲みたい」「冬の寒いときに飲みたい味」などなど歓喜の声が聞かれたが、「やはり辛口がいい」という意見も根強く、これからの消費者の動向が気になるところである。

（田中）

― 健康とおいしさ、どちらを選ぶ？ ― 家で手軽に出来る野菜ジュースを作ろう！

健康指向の今の世の中、野菜ジュースは欠かせない健康食品の一つとなった。しかし、市販されている野菜ジュースの多くは草っぽい味が強く、にんじんやトマトもその臭さが全面にアピールされたものとなっている。

そこで、家庭で作れる体に良くておいしいジュース作りに挑戦してみた。（高橋）

まず初めに、美容の為にビタミンCがたっぷりとれる野菜ジュースを考えてみた。ビタミンCと言えばすぐ思いつくものはレモン。他にも栄養価を調べてみるとアセロラ、トマト、赤ピーマン、オレンジなどにビタミンCが多く含まれていることが分かった。そこで赤ピーマン、トマト、レモン、オレンジなど赤い野菜や果物を選びミキサーにかけた。すると、見た目からしてまずそうなドロドロな血のような真っ赤なジュースが出来上がってしまう。飲んでみるとピーマンの臭いがきつく飲みにくい。オレンジの甘さはどこへいってしまったのか、ピーマンの苦さとレモンのすっぱさだけが残っている。ビタミンC量は一日に必要な量の三・七倍も採れるとはいえこれはまずすぎる。

健康を気にするあまり、想像を絶するジュースが次々に誕生

次に若者の骨粗鬆症が問題となっていることを考え、骨を強くするカルシウムたっぷりジュースを作ってみた。カルシウムといえば最初、牛乳くらいしか思いつかなかったのだが調べてみるとカブの葉や大根の葉など普段捨ててしまいがちな部分に多く含まれていることが分かった。また、カルシウムを骨に取り込むにはビタミンDが必要なのでにぼしを加えることにした。余り物をミキサーにつっこんで作れるお手軽ジュースにできるかも？と期待しつつミキサースタート。しばらくするとミキサーはジャリジャリと不快な音を立て始め、黒いゴマのようなつぶつぶ入りの白っぽいジュースとなった。味の方はにぼしの魚臭さが出てしまいおいしくない。カブやダイコンの葉の味は消え失せ、これはもはや野菜ジュースとは呼べない、ただの魚臭い牛乳となってしまった。

野菜ジュースにジュースとしてのおいしさを求めてはいけない

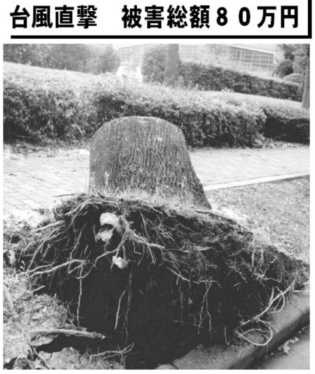
最後に飲み会の多い大学生の為に、二日酔いに効くジュースを試した。消化によいものとして柿、ラディッシュを入れてみる。柿には水分が少ないので水を加え少量の蜂蜜を入れる。すると、甘くて飲みやすく「二日酔いの日に、もし作る元気があれば飲みたい」という一品となった。

最後の最後においしいジュースができてよかった。しかし、これを美味しいと感じたのは野菜があまり入っていないからだとも考えられる。

結論として、野菜ジュースに普通のジュースとしてのおいしさを求めてはいけないということが分かった。だが、市販で売っているものよりも家庭で作ったものの方が生っぽくて飲みやすいことは確かだ。家庭で野菜ジュースを作る時の注意点は果物を必ず入れること、体に良さそうだからといって野菜を入れすぎないことだ。

Photo REport

台風直撃　被害総額８０万円



根からえぐれ、無惨に倒れている切り株。写真は台風十五号によって九月一五日に倒れた幹の直径五〇センチのユリノキのもの。ユリノキ通り平砂バス停北側で倒れ、歩道を塞いでいたが幹は業者が切り落とし、撤去した。

最大風速三〇メートル、関東地方の降雨量は一五〇ミリから二〇〇ミリという大型の台風一五号によって、筑波大学でも樹木の倒壊や枝の落下などの被害が出た。

大学敷地内で倒壊した樹木は、追越学生宿舎テニスコート付近の松の木や芸術工房棟西のニセアカシアなど合計二〇本。業者に回収を依頼し、翌日までには倒木や枝の撤去が行なわれた。また今回の撤去作業の費用として約八〇万円が宛てられた。

（中里）

筑波大学吹奏楽団による第４６回定期演奏会が、１０月２７日土曜日、ノバホールにて開催されます。曲目は、交響詩「ローマの松」（O.レスピーギ）をはじめ、「シンフォニアフェスティーバ」（A.ラニング）、「CATSメドレー」（A.L.ウエーバー）他で、チケットは前売り４００円、当日５００円となっています。当日は開場１７：３０、開演１８：００です。皆様お誘い合わせの上、ご来場下さいますようお願いいたします。

お問い合わせは０９０－３８１５－４９０１（河野）まで。

インフォメーション

来る一一月三日（土）、筑波大学応援団桐葉ノ舞が開催されます。

筑波大学応援団桐葉は「学内活性化」「母校意識の高揚」「筑波大学の宣揚」を団目的として掲げ、筑波大学の各種競技の応援、学内外でのステージを中心に日々の活動を行っています。この桐葉ノ舞ではそれらの練習の集大成として、日々の活動を通じ蓄積してきた応援技術とその成果を披露します。

内容はリーダー部によるリーダー演舞、チアリーダー部によるチアリーディング、マーチングバンド部によるマーチングドリル、そして三部合同の野球・アメフト応援メドレー、演芸など。

会場はつくばセンタービルノバホール、開場一六時三〇分、開演一七時。入場無料。お問い合わせは〇二九八（五八）二七二九伊藤まで。

拝啓　田舎に住むお父っぁんへ
筑波学生新聞縮刷版ＣＤ－ＲＯＭが
ついに
大学会館で販売開始だよ！！！！
お父さんの青春とあなたの青春がまるまるつまった縮刷版は定価２５００円にて絶賛発売中！！

大幅値下げ
スターレット（5人乗り）（旧料金）7,500→【新料金】5,000円（12時間）
イプサム（7人乗り）（旧料金）13,800→【新料金】11,500円（12時間）
〈株〉トヨタレンタリース茨城
－筑波学園営業所－
営業時間 8:00～19:00　☎51-0100

Let's get「免許」
学園中央　筑波学園　土浦
選べる3タイプ　「近いトコ」「安いトコ」「サービスの良いトコ」と3種の教習所があり、好みに合って選べます。
最短18日で卒業!!　スピードプランなら、自分の予定に合わせて教習カリキュラムを組めるのでラクチン!!
≪お申込／お問合せ先≫
Tsukuba Local Community　TEL：60-4040

メモ帳にどうぞ。